

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月 18日に小学校 6 年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この結果をもとに本校でも指導の在り方を振り返り、今後の改善を図ります。

1 教科結果から

本校の対象児童は極少数ですので、個人情報保護の観点から、残念ながら平均通過率等の数値をお伝えすることができませんが、おおむね定着しています。本校独自の講評は控え、安芸太田町及び広島県の通過率について公表していただき概要の報告とさせていただきます。

全国学力・学習状況調査

平均正答率	国語	算数
安芸太田町	68	63
広島県	66	68

2 さらなるレベルアップのために

教科における課題から

国語 目的や意図、条件に応じて自分の考えの理由を明らかにしてまとめて書くことに課題が見られました。また、問題文全体の意味を把握せず、部分のみを見て解答してしまう傾向が見られました。そこで、説明文の学習を中心に要点を短く自分の言葉でまとめる学習を多く取り入れていきます。

算数 示された計算の仕方を解釈し、計算しやすい式にすることに課題がみられました。そこで、授業の中で、ノートに自分の考えを図や言葉を使って書いたり、説明したりする学習を多く取り入れていきます。また、それまでに学習した知識を使って新しい問題を解くことにも力を入れていきます。

3 生活と学習に関する調査から

与えられた課題に取り組む習慣は定着していますが、自分で計画的に予習や復習をしたり、テスト勉強などの自学自習をしたりすることは、あまりないようです。そこで、学年に応じて自学自習の仕方を指導し、学力補充の時間や家庭学習で自分の苦手なところを学習するよう取り組んでいきます。また、読書に積極的に取り組むことは少ないようで、全体的に読書量が少ない傾向があります。学校での読書タイム、読書記録、読書目標の設定など読書の習慣化を図っていきますので、ご家庭でも親子読書、声かけなどご協力をよろしくお願いいたします。

学校として、授業改善をし、自ら課題を発見し、学ぼうとする意欲を育てていくとともに、家庭と連携を図り、さらなる学力の定着を図っていきたいと思います。